

鳥取県地域少子化対策強化事業実施計画書

市 町 村 名	南部町
事 業 名	未来へつながるまち・ひと育成事業
事業の趣旨・目的	次世代を担う若者自身のライフデザインの形成と妊娠期の夫婦の関わり、結婚・妊娠・出産・子育てを応援する人材や企業による「南部町子育て応援団」を結成し、町全体で未来へつながるまち・ひとづくりを目指す。
実 施 期 間	交付決定後 ～ 平成28年3月31日
所 要 見 込 額	8,625 千円
地域の実情と課題	南部町内でも核家族の増加、若年妊娠やひとり親家庭の増加や育てにくい子ども、親自身の子育ての知識の欠如などから、養育的支援が必要な家庭が増えている。また、南部町が男性の育児に関するアンケートを行ったところ、非正規職員の増加や長時間労働によりワークライフバランスを保つことが難しく、家事や育児をしたくてもできない状況にある。保護者や行政だけの問題ではなく、地域全体で子育てを支援する仕組みが必要となっている。
	<p>1 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うための仕組みの構築 県事業計画に基づく、子育ての現代基礎知識を身につけて、豊富な経験を活かして、地域で少子化対策（結婚・妊娠・出産・子育ての支援）に切れ目なく取り組む“シニア世代”を養成する講座シニア世代の孫育て事業の実施にあたり、県と連携する。</p> <p>(先駆性) (事業の効果)</p> <p>2 結婚に向けた情報提供等 県は、鳥取県の県民性を踏まえながら、より効率的で、効果的にマッチングができる方法を検討し、そのマッチング方法を活用してセンターの運営することとしており、センターが実施する結婚支援に携わる者の研修などに参加するなど、とっとり出会いサポートセンター（仮称）設置事業の実施にあたり、県と連携する。</p> <p>(先駆性) (事業の効果)</p> <p>3 妊娠・出産に関する情報提供（計：706千円） 【ライフデザイン事業】 南部町の合計特殊出生率は、平成25年で1.44であり、全国の1.43と同等、鳥取県の1.62と比べると大幅に下回っている現状がある。年間出生数は、平成17年度は90人であったが、平成26年度は60人となり、30人も減少している。その背景には、中小企業の多い地域で、正規職員から非正規雇用といった働き方の変容により、地域で子どもや若者自体が少なく、人生の手本となるロールモデルの不在により結婚・子育てへの希望や憧れの欠落が考えられる。</p> <p>(1) ライフデザインセミナーの開催 高校生及び南部町に在住または在勤する若者を対象に、進学、就職、結婚、子育てなど、さまざまなライフイベントをどうつなげていくのか、次世代を担う若者が将来のライフビジョンを明確にするための「ライフデザインセミナー」を男女1回ずつ年2回開催し、若者自身の夢や目標、そうなるためにはどうしたらよいかといった、人生の見通しを立てる「人生設計図」を作成する。セミナーでは、妊孕性、卵子の老化、晩婚化により子どもがでにくい状況など、正しい知識を伝えることにより、少子化対策の一手となるような内容とする。</p> <p>(2) ライフデザインハンドブックの作成 セミナーだけでは参加者が特定されるため、次世代を担う若者が未来へつながるライフデザインのバイブルとなるような「ライフデザインハンドブック」（8ページ中学生400部、高校生サークル100部、成人式・概ね25歳前後の町内在住者及び在勤者450部、セミナー参加者50部、計1,000部）を作成する。内容には、ライフデザインを設計する際に必要な基礎知識として、妊孕性、卵子の老化、晩婚化により子どもがでにくいことなども盛り込む。さらにハンドブックを配布する際には、町内中学校（2校×1回）や高校生サークル（1回）、成人式（1回）、町内企業等（7社×1回）でハンドブックの内容、活用方法について出前説明会（講師は助産師・保健師等の町職員や学校の養護教諭等）を年に10回程度行うこととする。</p> <p>ハンドブック印刷製本費 540,000円 ライフデザインセミナー講師謝金 9,000円×4時間×2回（セミナー2回） ライフデザインセミナー講師旅費（南部町～東京）（36,180円+10,900円）×2回 アウトプット指標：ライフデザインセミナー参加者数延べ50名、ハンドブック配布数1,000部</p> <p>【南部町版育児パッケージ開発事業】（地域少子化対策強化交付金対象外） 妊娠中のパパママ教室（既存事業）を開催する際、夫婦での参加の動機付けとして、「南部町版育児パッケージ」を開発し、参加者にお渡しする。パパママ教室の不参加者については、育児パッケージの贈呈を機に保健師等が自宅訪問（アウトリーチ）を行い、出産前に必ず1回は夫婦面談を行う機会を設ける。</p> <p>20,000円×1.08×70人＝1,512,000円（個人給付分の経費は地方住民生活等緊急支援のための交付金を活用）</p>

<p>(先駆性) 進学、就職、結婚、子育てなど、さまざまなライフイベントをどうつなげていくのか、次世代を担う若者が将来のライフビジョンを明確にするための「ライフデザインセミナー」を開催し、若者自身の夢や目標、そうなるためにはどうしたらよいかといった、人生の見通しを立てる「人生設計図」を作成することで、結婚前の高校生～青年期が結婚・妊娠・出産に関する知識や情報を習得することが期待できる。特に、妊娠については、妊孕性、卵子の老化、晩婚化により子どもがでにくい状況など、正しい知識を伝えることにより、少子化対策の一手として期待できる。現在は、このようなセミナーを開催しておらず、若者がライフビジョンを持っていないことで、晩婚化や初産年齢が高まるという現状がある。</p>
<p>(事業の効果) ライフビジョンを明確にすることで、若者自身が自分の人生を見つめ直し、結婚・妊娠・出産・子育てという選択肢を自身のライフステージに取り込むことが期待できる。 アウトカム指標：セミナー参加者アンケートにおいて、『将来的に家庭を持ち子どもを設けたい』と考えた割合 80%以上</p>
<p>4 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備（計：3,957千円）</p> <p>【むすびの会育成事業】 地域で結婚を後押しする仲的な存在かつ子育てを応援するリーダー的な人材を育成するため、結婚・妊娠・出産・子育てを継続して支援する人材育成講演会を開催（20人×3回/年）し、セミナー受講者を『南部町むすびの会（仮）』の会員としてメンバー登録し、会員同士の未婚者の情報交換（本人や家族の同意を得た方のみ）や本人や家族からの結婚の相談や町内の支援センターや保育園で行う子育て支援行事の手伝いなどを行いながら、結婚から子育てまで切れ目なく支援する地域のリーダーとして幅広く活動を行う。 講演会については、①『結婚について』②『妊娠・出産について』③『子育てについて』各1回ずつ、計3回行い、講演会の受講者は地方創生総合戦略策定時に立ち上げた子育て支援部会の部員や地域で活動しているボランティア団体、民生児童委員など、すでに地域活動に貢献している者で、次年度以降も『南部町むすびの会（仮）』として定期的に活動を行っていただける方を想定。</p> <p>人材育成事業委託料 540,000円 アウトプット指標：講演会受講者延べ60名</p>
<p>(先駆性) 結婚と子育ての両方を支援するリーダー的な人材を育成することで、結婚から子育てまで、切れ目なくサポートすることができる。</p>
<p>(事業の効果) 『むすびの会（仮）』の会員として会員登録し、活動を行うことで地域全体で結婚から子育てを切れ目なくサポートすることができる。 アウトカム指標：講演会参加者アンケートで『地域で結婚支援・子育て支援を行いたい』と回答した割合 80%以上 むすびの会会員20名育成</p>
<p>【子育て応援企業育成事業】 (1) イクボス宣言及び基調講演会、経営者・管理職向けセミナーの開催 南部町内の企業のイクボス宣言（宣言時にイクボスの制度説明を含む基調講演会を開催）及び「南部町子育て応援企業」として南部町独自の認定基準（講座を受講し、従業員と町民の子育てを応援する企業、詳細は検討中）を満たした企業に認定証の交付、経営者向け・管理職向けの講座の開催（計3回/年）を開催する。 (2) ハンドブックの作成 イクボスの浸透やロールモデルの提示、及び子育て応援企業としての企業内の意識づけを行い、組織全体でイクボスを掘り起こすための啓発用ハンドブック（8ページ程度、50社×20部＝1,000部）を作成し、企業内の職員研修を行う。また、「子育て応援団」の一員として、町民と一緒に広報活動や遊び場の点検といった地域貢献の場を行う。 (3) 啓発グッズの作成 啓発グッズとして、のぼり旗、名札等に着用できるイクボス宣言バッジ等を作成する。 子育て応援企業育成事業委託料 2,916,000円 アウトプット指標：子育て応援企業登録数 20社</p>
<p>(先駆性) 南部町内の企業のイクボス宣言を行い、経営者向け・管理職向けの講座の受講を行う企業に対して「南部町子育て応援企業」を独自の認定基準で認定することで、企業が従業員の子育てを応援するだけでなく、地域にも貢献することが期待できる。南部町では中小企業が多く、イクボスについてセミナーを独自で開催することができない現状がある。</p>
<p>(事業の効果) 子育てを応援する企業を育成し、従業員の子育てだけでなく、「子育て応援団」の一員として、町民と一緒に広報活動や遊び場の点検といった地域貢献の場を持つことで地域全体が活性化される。 アウトカム指標：子育て応援企業のうち、地域貢献活動等を行った割合 50%以上</p>

事業内容

	<p>【子育ては親育ち!成長と学びのプログラム事業】(継続事業)</p> <p>・昨年度本交付金を利用し作成した『子育ては親育ち!成長と学びのファイル』には、妊娠期から中学生までを12ステージにわけ、子どもの様子、成長記録、その年代で学んでほしいことをまとめた学びのコラム・栄養・メディアに関すること、講演会などの学びの記録を記載できるようにした。今回は、その続きとなる高校生から青年期の記載を追加することで、子どもが親になるといふ人生の循環をイメージすることで、親になる自覚を植え付けることができる。ファイルは母子手帳交付時に保健師が面談し内容・利用方法について説明し、子どもが中学校を卒業した時、成人式、結婚するときなどに本人へ渡すようにファイルの冒頭に記載している。</p> <p>《継続理由》</p> <p>ファイル及び子育てサポートガイドに高校生～青年期、次世代を担う若者のライフデザインを追記することで、子が親として成長していくライフサイクルを示すことが可能となり、子どもが親になるといふ人生の循環をイメージすることで、親になる自覚を植え付けることができるようになるため、本年度も継続して実施したい。</p> <p>ファイルについては、昨年度は未就園児全員と小学生は希望者であったため、今年度の出生見込数と転入者に新規に配布、今年度追記する高校生～青年期については、昨年度ファイルを配布した者に追補を配布する。また子育てサポートガイドはそれ以上の未就園児、小・中学生以降に配布する。</p> <p>今年度出生数70人、転入者等30人計100部に成長と学びのファイルを新規に配布、高校生～青年期の追補700部、子育てサポートガイド未就学児450部は保護者に配布、小・中学生800部も保護者に配布、高校生～青年期600部は本人へ配布、保育施設等関係者100部、教育関係者50部、計2,000部作成(サポートガイドは、2,000部は交付金対象外)</p> <p>需用費 464,650円×1.08=501,822円</p> <p>アウトプット指標:資料配布数 新規ファイル100部、追補700部</p>
	<p>(先駆性)</p> <p>妊娠期から子どもの様子や成長過程、学びの記録をつけることができ、子育てに関係する専門職等はファイルを活用して連携した支援を行うことができる。また、「子育ては親育ち!成長と学びのファイル」に高校生～青年期の記事を追加し、次世代を担う若者のライフデザインについて記載し、昨年度配布したファイルに追補することで、子が親になるといふ人生の循環をイメージし、親になる自覚を植え付けることが可能となる。南部町には高校・大学がなく、中学生以降の生活を地域で見通すことができない現状がある。</p>
	<p>(事業の効果)</p> <p>子育ては親育ち!成長と学びのファイルを活用することによって、子どもの成長に見通しを持ってようになり、その子がやがて親になっていく姿をイメージすることができる。</p> <p>アウトカム指標:未就学児の保護者アンケートにより、『子育ては親育ち!成長と学びのファイルや子育てサポートガイドを日ごろから活用している』と回答した割合60%以上</p>
	<p>5 少子化対策への前向きな機運の醸成(計:3,962千円)</p> <p>【子育て応援団結成事業】</p> <p>(1) 子育て応援団の結成</p> <p>上記4で示した「南部町むすびの会(仮)」や「子育て応援企業」、既存団体の子育てサークルなどで、新たに「南部町子育て応援団(仮)」を結成し、町の子育て支援施策のあり方や公園遊具や子どもの遊び場の安全点検などを行う。</p> <p>(2) チラシ・プロモーションビデオによる広報活動</p> <p>町の子育て環境の魅力を発信する広報活動(プロモーションビデオと連動したチラシ町内全戸4,200部、子育て応援加入団体30×30部=900部、町6か所や保育園4か所、小中学校5か所、地域振興協議会7か所、病院等8か所の町内外の方に目につくような窓口30ヶ所×30部=900部 計6,000部)を行い、チラシを全戸配布するだけでは、目にしない者もいるため、子育て応援団や関係機関へ周知について協力を得て実施することで、町全体で子育てを応援する機運を高め、少子化に負けない町づくりを行う。子育て応援団員が南部町の子育て環境や子育て応援団の活動について紹介するプロモーションビデオとチラシの制作段階から関わっていく。子育て応援団の活動をPRするため、南部町にゆかりのある著名人起用し、ビデオやチラシにも出演してもらい、ケーブルネットワークでの配信、南部町子育て支援サイトでの動画配信し、町内外で幅広く視聴してもらうことで子育て応援団員の増加や南部町の子育て環境等の情報を幅広く提供する。事業の効果については、町に設置している少子化対策推進本部会議(全課長級が委員・年3回程度開催)にて検証を行う。</p> <p>プロモーションビデオ製作費 1,722,600円</p> <p>子育て応援団PR事業委託料 1,700,000円</p> <p>子育て応援団チラシ印刷製本費 540,000円</p> <p>小計:3,962,600円</p> <p>アウトプット指標:子育て応援団加入数 30団体</p>
	<p>(先駆性)</p> <p>子育て支援を行っている個人や団体はあるが、結婚から子育てを切れ目なく支援する人材『むすびの会(仮)』と『子育て応援企業』が一つの組織『子育て応援団(仮)』として、プロモーションビデオ等の広報活動を行うことで、町民だけでなく町で働く従業員にも影響を与え、町全体で子育てを応援する機運が高まり、少子化に歯止めをかけることが可能となる。個々に活動を行う個人・団体はあっても、町全体で子育てを応援する活動を取り組むといった機運がないという現状がある。</p>
	<p>(事業の効果)</p> <p>地域の人材と企業が『子育て応援団』という一つの組織を形成することで、町全体で子育てを応援する機運を高めることが期待できる。</p> <p>アウトカム指標:子育て応援加入団体職員へのアンケートで『自分や勤務している会社は子育てに関して、地域に貢献している』と回答した割合 80%以上</p>
<p>都道府県との連携方法</p>	<p>・本事業計画について、県と協議推進していく。</p> <p>・県主催事業への周知呼びかけ等をおこない、養成講座への参加を促し、受講者を地域の人材として活用していく。</p>
<p>内閣府「地域住民生活等緊急支援のための交付金」の活用予定</p>	<p>【南部町版育児パッケージ開発事業】</p> <p>個人給付分の経費は、地方住民生活等緊急支援のための交付金を活用する。</p>